

【 北海道合宿 】

サッカーのおかげでいろんな場所に行く機会があり、いろんな出会いがあります。日本の47都道府県でまだ行ったことのないのはあと少しで、その内の1つであります北海道の野幌総合運動公園でイラン大会出場選手発表後の最初の合宿を7月に開催しました。北海道ろう者サッカー協会の皆様のご協力があり快適な気候の中、キッズサッカー教室や合宿を行うことができました。毎回その地域のろう者サッカー協会の皆様のご協力でキッズサッカー教室や代表合宿を行えますこと心よりお礼申し上げます。およそ3ヶ月前の合宿から比べまして特に成長を感じたのは「千葉」「菱岡」でした。GK2名は非常に高いレベルでお互いに切磋琢磨して競い合っており、前回できなかったことができるようになっていたりお互いのいいところをみて刺激し成長していています。よく経験を活かすといわれますが、それは経験してきたことがそのまま活かせるということではないと思います。まわりの状況もかわりますので経験から得たさまざまな選択肢の中から目の前の問題に対して何が一番いい方法なのかを選んでいくことだと思います。試合の中ではベストだと思う選択をしましたが相手がいることですので上手くいくとは限りませんが、ただこの状況でこのプレーはしてはダメという当たりはつきます。選択肢の中からしてはいけないプレーを捨てていけばいいプレーしか残りません。「設楽」「細見」「野呂」は守備の面で安定感が増していましたのはこういった経験を上手く活かしているからです。常々、何か人に勝てる部分がないと「平均値だけではダメ」と考えております。シュートだけなら世界一、守備だけなら世界一とか、ムード作りだけは世界一とか、全部を平均的にできるというよりは、何か一つが秀でている選手が集まったほうが強いチームになると思っておりますし、そういった選手を招集しています。今回の得点に絡んだ桐生（仲井、古島）、毛塚（吉野、船越）、中島（仲井）、仲井（古島）の多くが中堅や若手です。若い選手は経験値が少ないですが体力もあり勢いもありますのでもっとおもいきって自分のいいところをだしてほしいです。だめだったり、無駄だったりするかもしれませんがこういう遠回りすることが自分の経験となっていくのです。サッカーは団体スポーツでありながら個で戦う局面が数多くあります。スピードやパワーといった個の強化は、いくらやっても日本が世界と互角以上に戦うのは難しいと感じる方々がほとんどですが、いろんな部分で勝っている部分は多いと思っております。不足していると思うのはメンタルの強化です。いいときと悪いときの差が大きすぎます。それは、自分の気持ちをコントロールできないからではないでしょうか。リラックスしすぎて、気持ちが入りすぎてテンションが高くなりすぎても良くありません。次回の合宿はアジア予選に向けた最後の練習になります。招集選手が全員、ケガなく健康に無事に集まってくれることを心から願っています。